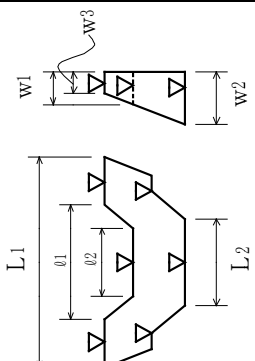
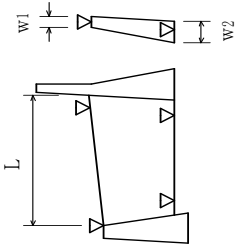


出来形管理基準及び規格値

編		章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
8	砂防編	1	3	4		鋼製堰堤仮設材製作工	部材	部材長 $\ell$ (m)	$\pm 3 \dots \ell \leq 10$ $\pm 4 \dots \ell > 10$			8-1-3-4
							部材					
8	砂防編	1	8	4		コンクリート堰堤本体工	基準高	▽	$\pm 30$	図面の表示箇所で測定。		8-1-8-4
							天端部堤幅	$w_1, w_3$ $w_2$	-30			
							水通しの幅	$\ell_1, \ell_2$	$\pm 50$			
							堤長	$L_1, L_2$	-100			
8	砂防編	1	8	6		コンクリート側壁工	基準高	▽	$\pm 30$	1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さ、長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。		8-1-8-6
							幅	$w_1, w_2$	-30			
							長さ	L	-100			

出来形管理基準及び規格値

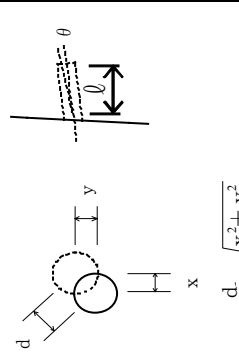
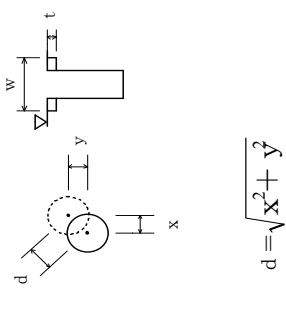
編		章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要			
8	砂防堰堤	1	8	8		水叩工	基準高▽	±30	基準高、幅、延長は図面に表示してある箇所での測定。 厚さは目地及びその中間点で測定。		8-1-8-8			
							幅 w	-100						
							厚さ t	-30						
							延長 L	-100						
8	砂防堰堤	1	9	5	1	鋼製堰堤本体工 (不透過型)	堤高▽	±50	1. 図面の表示箇所での測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		8-1-9-5			
							長さ $\phi_1, \phi_2$	±100						
							幅 $w_1, w_3$	±50						
							下流側倒れ△	±0.02H <sub>1</sub>						
							袖高▽	±50						
							幅 $w_2$	±50						
							下流側倒れ△	±0.02H <sub>2</sub>						
							堤長 L	±50				(備考) 格：格子型鋼製砂防ダム A：鋼製スリットダム A型 B：鋼製スリットダム B型 L：鋼製スリットダム L型		8-1-9-5
							堤長 L	±50						
							堤長 $\phi$ 格・B・L	±10						
							堤幅 W 格	±30						
							堤幅 w 格・A・B ・L	±10						
高さ H 格・A・B ・L	±10													

出来形管理基準及び規格値

単位：mm

編	章	節	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
8	1	9	6	鋼製側壁工	堤高 $\nabla$	$\pm 50$	1. 図面に表示してある箇所での測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		8-1-9-6
					長さ L	$\pm 100$			
					幅 $w_1, w_2$	$\pm 50$			
					下流側倒れ $\triangle$	$\pm 0.02H$			
					高さ h	-50			
						-100			
8	2	5	8	魚道工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1箇所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2箇所。		8-2-5-8
					幅 w	-30			
					高さ $h_1, h_2$	-30			
					厚さ $t_1, t_2$	-20			
					延長 L	-200			
8	3	6	4	山腹明暗渠工	基準高 $\nabla$	$\pm 30$	施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1箇所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所につき2箇所。		8-3-6-4
					厚さ $t_1, t_2$	-20			
					幅 w	-30			
					幅 $w_1, w_2$	-50			
					高さ $h_1, h_2$	-30			
					深さ $h_3$	-30			
延長 L	-200								

出来形管理基準及び規格値

編		章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
8	砂防編	3	斜面对策	4		集排水ボーリング工	削孔深さ $\phi$	設計値以上	全数		8-3-7-4
							配置誤差 d	100			
							せん孔方向 $\theta$	$\pm 2.5$ 度			
8	砂防編	3	地下水排除工	5		集水井工	基準高 $\nabla$	$\pm 50$	全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。		8-3-7-5
							偏心量 d	150			
							長さ L	-100			
							巻立て幅 w	-50			
							巻立て厚さ t	-30			
8	砂防編	3	斜面对策	6		合成杭工	基準高 $\nabla$	$\pm 50$	全数測定。		8-3-9-6
							偏心量 d	D/4以内かつ 100以内			